

「第2回 学校運営協議会」開催

第1回の学校運営協議会で承認いただきました学校経営方針に基づいて、概ね順調な経営ができています。教育委員会の学校訪問でも生徒の学習状況や教師の指導状況含めて順調との評価を頂きました。また、地域学校協働活動推進員の塚本さんもスローガンの懸垂幕のデザインや、地域人財の活用をして子どもが学びや喜びにつながる体験などの調整や、学校公開・本運営協議会の事務などにも関わって進めていただいています。地域と共にある学校づくりという、コミュニティ・スクールとしての魅力発信に関しては、ホームページの更新、結ネットでの発信にも力を入れております。

また、学校だよりでも、「保護者の皆さまへ」の中でコミュニティ・スクールの事に触れ、教職員・保護者・地域がより良い関係を築けるように協力をお願いしています。生徒にも、自分たちで何か出来ることがあるのではと、投げかけてあります。

今日は、授業参観などして学校の様子を見ていただきましたので、質疑や地域として何が出来かなど、忌憚のないご意見をください。よろしくお願いします。

以上のように学校からの報告で始まり、意見交換、今回のテーマの協議へと移りました。

「地域として、子どもをどう育ててゆくか」

大きなテーマなので、身近なところから始めるといいと思います。例えば、「愛と和 ののいち5万人 あいさつ運動」期間中に自宅前であいさつ。しかし、いきなり声をかけると、びっくりします。学校なんかで地域でもあいさつするなど意識づけ、地域の人があいさつしてもびっくりしないように（見守り隊の人たちのように）ただ、不審者に間違えられたり、逆に不審者に対する注意が和らいだりする場合もあるので、ここは難しい課題になると思います。

保護司会の方たちが、定期的に校門のところで行っている「朝のあいさつ運動」では、生徒らも、あいさつを返すようになっていきます。やはり大人から、あいさつをして行くのがいいですね。

郷土史やSDG'sなど、先生方より地元で暮らしている方から直接学ぶことにより、より身近な事柄となり、生徒が自主的に探究してゆくことができ、生き字引のような、高齢者も孫みたいな生徒に、話すことにより元気になるのではと思います。学校と共に、地域の力で子どもたちに、より身近なことを学んでいくことで、コミュニケーションも図れ、地域での活動や防災などにも参加しやすくなっていくと思います。このテーマは今後、学校運営協議会で深めていきたいと思っています。



9月13日 校長室からの撮影

結ネットでも公開しています。

暑い夏、皆さんが水やりなどをこまめにやってくださったおかげで、花壇の花がこんなにきれいに咲きました。

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

お問い合わせは（火曜日午前・金曜日午後）
布水中学校運営協議会
地域学校協働活動推進員
塚本 茂樹
野々市市押野2丁目100番地
電話：076-248-0039

E-mail:

fusuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp